



PRESS RELEASE

2026年6月15日

【ブランド USA】

ルート 66 制定 100 周年で人気再燃のアメリカのロードトリップ 全米各地の人気ドライブルート沿線で 本年夏から秋にかけて多彩なイベントが開催

1926 年にアメリカ最初の国道のひとつとして誕生し、西部開拓や自動車文化の象徴とされるルート 66 が 2026 年、制定 100 周年を迎えます。本年はアメリカ建国 250 周年という大きな節目にも重なるため、全米各地のドライブルート沿線で様々な記念イベントが計画されています。

アメリカ合衆国の公式観光マーケティング機関であるブランド USA はこのたび、これらのイベントの概要とアメリカならではのロードトリップの魅力を紹介する特集ページを一般消費者向け公式ウェブサイト「[Visit The USA](#)」上にて公開しました。ドライブでのロードトリップは、アメリカを象徴する旅のスタイルの一つと云えます。広大な砂漠地帯を貫くハイウェイや太平洋沿いの海岸線をたどる景勝ルートなど、多彩な風景の中を自由に移動しながら、その土地ならではの文化や人々との出会いを楽しめるのがその醍醐味です。目的地に到着することだけでなく、その道のりそのものが特別な思い出となる点も、アメリカのロードトリップならではの魅力です。

今回の特集では、ルート 66 やパシフィック・コースト・ハイウェイをはじめとする名高いドライブコースから、あまり知られていない絶景ルート、歴史街道、美しい鉄道路線まで、多彩なロードトリップルートと沿線で開催されるイベントや特別プログラムを紹介しています。

ルート 66 (イリノイ州シカゴ～カリフォルニア州サンタモニカ)

シカゴからサンタモニカまで全 8 州、全長約 3,940 キロを結ぶルート 66 は、アメリカを代表するロードトリップルートです。「マザーロード」の愛称でも親しまれ、自由と冒険の象徴として世代を超えて愛されてきました。沿線にはネオンサインが輝く街並みやダイナー、モーテル、小さな町々など、古き良きアメリカのロードサイド文化が今も色濃く残っています。

■ マザーロード・クラシック (Mother Road Classic)

ルート 66 沿線を代表する都市の一つであるアリゾナ州フラッグスタッフでは本年 8 月 15 日、クラシックカーイベント「マザーロード・クラシック」が開催されます。市庁舎やウィーラー公園周辺を会場に数多くのクラシックカーが集結し、往年のアメリカ車の展示やパレードが催されるなど、ルート 66 沿線ならではのノスタルジックな雰囲気を楽しむことができます。



■ スタンディン・オン・ザ・コーナー・フェスティバル (Standin' on the Corner Festival)

アリゾナ州ウインスローでは本年 9 月 25 日と 26 日、音楽イベント「スタンディン・オン・ザ・コーナー・フェスティバル」が開催されます。ウインスローは、イーグルスの名曲「テイク・イット・イージー」の歌詞に登場することで世界的に有名になった街です。イベント期間中は、同曲を記念して整備された記念広場「スタンディン・オン・ザ・コーナー・パーク」周辺の複数の会場で、音楽ライブやストリートパフォーマンスが繰り広げられます。

■ マスタング・オン・ザ・マザーロード (Mustangs on the Mother Road)

オクラホマ州タルサでは本年 7 月 24 日～26 日、フォード・マスタングをテーマにした大型カーイベント「マスタング・オン・ザ・マザーロード」が開催されます。ルート 66 制定 100 周年を記念して開催される同イベントには、全米各地から数多くのマスタング愛好家や車両オーナーが集まり、カーショーやパレード、交流イベントなどが予定されています。

■ ルート 66 制定 100 周年記念切手

全米各地の郵便局*では現在、米国郵政公社 (USPS) が発行するルート 66 制定 100 周年記念切手を購入することができます。ネオンサインやクラシックカー、ダイナー、モーターなど、ルート 66 を象徴する風景を描いたデザインで、ルート 66 を巡る旅の記念品としてもおすすめです。

※取り扱い状況は地域によって異なる場合があります。詳細は米国郵政公社 (USPS) の[ウェブサイト](#)をご確認ください。

パシフィック・コースト・ハイウェイ(カリフォルニア州サンフランシスコ～ロサンゼルス)

パシフィック・コースト・ハイウェイ (PCH) は、太平洋を望む断崖絶壁や美しい海岸線が続く、アメリカ西海岸を代表するロードトリップルートです。サンフランシスコとロサンゼルスを結び、ビッグサーやモントレー、サンルイスオビスポ郡などを訪れることができます。パシフィック・コースト・ハイウェイの南端に位置するサンタモニカは、ルート 66 の公式な西の終着地としても知られています。

■ アメリカ・オン・ザ・ムーブ: ルート 66 センテニアル・パレード (America on the Move: A Route 66 Centennial Parade)

サンタモニカでは本年 7 月 12 日、ルート 66 制定 100 周年記念プログラム「ルート 66 センテニアル・セレブレーション」の一環として、「アメリカ・オン・ザ・ムーブ: ルート 66 センテニアル・パレード」が開催されます。ロサンゼルスのパイターセン自動車博物館からサンタモニカ・ピアまで、クラシックカーや往年の名車 50 台によるパレードが実施されます。パレード到着後は、サンタモニカ・ピアで車両展示なども予定されています。

オーバーシーズ・ハイウェイ(フロリダ州マイアミ～キーウエスト)

フロリダ本土とキーウエストを結ぶオーバーシーズ・ハイウェイは、全長約 180 キロにわたり 42 の橋を渡るアメリカ屈指の海岸ドライブルートです。なかでも、フロリダ・キーズを象徴するセブンマイル・ブリッジは、美しいエメラルドブルーの海の上を走る絶景スポットとして知られています。

■ ヘミングウェイ・デイズ (Hemingway Days)

キーウエストでは本年 7 月 22 日～26 日の間、「ヘミングウェイ・デイズ」が開催されます。ノーベル文学賞作家アーネスト・ヘミングウェイの生涯と功績を称えるイベントで、名物プログラムの「ヘミングウェイそっくりさんコンテスト」をはじめ、作品の朗読会や講演会、短編小説コンテスト、釣り大会などが催されます。ヘミングウェイが愛したキーウエストの歴史や文化を楽しむことができます。

■ 国道 20 号線 (マサチューセッツ州ボストン～オレゴン州ニューポート)

全長約 5,300 キロに及ぶ国道 20 号線 (U.S. Route 20)は、マサチューセッツ州ボストンからオレゴン州ニューポートまでを結ぶアメリカ最長の国道です。歴史ある東海岸の街並みから中西部の大平原、ロッキー山脈、西部の砂漠地帯を経て太平洋岸へと至るルートで、変化に富んだ景観を楽しむことができます。

■ ニューポート・シーフード&ワインフェスティバル (Newport Seafood & Wine Festival)

国道 20 号線の西端に位置するオレゴン州ニューポートでは 2027 年 2 月、「ニューポート・シーフード&ワインフェスティバル」が開催されます。オレゴン州沿岸部を代表する食のイベントとして知られ、新鮮なシーフードや地元ワインを楽しめます。期間中は、地元レストランやワイナリーが提供する試飲・試食プログラムのほか、シーフード・チャウダー・コンテストや工芸品マーケットなども開催され、オレゴン州沿岸部ならではの食文化を満喫できます。

■ テイル・オブ・ザ・ドラゴン (テネシー州メアリービル～ノースカロライナ州ロビンズビル)

テネシー州とノースカロライナ州の州境付近を走る「テイル・オブ・ザ・ドラゴン」は、わずか約 18 キロの区間に 318 ものカーブが連続することで知られる山岳ルートです。信号機が一つもない曲がりくねった山道がグレート・スモキー山脈の深い森の中を縫うように続き、全米屈指のツーリング&ドライブルートとして人気を集めています。

■ グレート・スモキー・マウンテン・ホットエア・バルーン・フェスティバル (Great Smoky Mountains Hot Air Balloon Festival)

テネシー州メアリービルでは本年 8 月 15 日、「グレート・スモキー・マウンテン・ホットエア・バルーン・フェスティバル」が開催されます。グレート・スモキー山脈を背景に色鮮やかな熱気球が空を彩る人気イベントで、熱気球の係留展示やナイトグロー (夜間点灯) のほか、ライブ音楽やフードイベントも実施されます。東部アメリカの雄大な山岳風景を楽しめる、テネシー州を代表する夏のイベントです。

■ スカイライン・ドライブ (バージニア州シェナンドー国立公園)

バージニア州のシェナンドー国立公園を南北に貫くスカイライン・ドライブは、全長約 169 キロにわたりブルーリッジ山脈の稜線をたどる絶景ルートです。公園内唯一の一般車両通行道路として知られ、75 カ所の展望スポットから森林や溪谷の雄大な景色を楽しむことができます。

■ シェナンドー・バレー・ミュージック・フェスティバル (Shenandoah Valley Music Festival)



バージニア州オークニー・スプリングスでは本年 7 月 17 日から 9 月 6 日まで、音楽祭「シェナンドー・バレー・ミュージック・フェスティバル」が開催されます。1963 年に始まった同イベントは、バージニア州で最も長い歴史を持つ音楽祭として知られています。歴史ある野外会場「Shrine Mont」を舞台に、毎年夏からレイバーデー（労働者の日）の週末にかけて開催され、クラシック、カントリー、ロック、ブルーグラス、アメリカーナなど幅広いジャンルのコンサートが行われます。

ビーチ・ブルバード・シーニック・ドライブ (ミシシッピ州ガルフコースト)

ミシシッピ州のメキシコ湾岸沿いを走るビーチ・ブルバード・シーニック・ドライブ (US-90) は、白砂のビーチや歴史ある漁村、アート地区などをつなぐ海岸ドライブルートです。沿線にはバッカニア州立公園や自然遊歩道が点在し、ゆったりとした時間を楽しむことができます。

■ クルージン・ザ・コースト (Cruisin' The Coast)

ミシシッピ州ガルフポートやビロクシ、ベイセントルイス、オーシャンズスプリングスなどメキシコ湾岸沿いの複数都市では本年 10 月 4 日～11 日の間、クラシックカーのイベント「クルージン・ザ・コースト」が開催されます。同イベントはアメリカ最大級のクラシックカーイベントの一つとして知られ、全米各地から約 8,000 台のクラシックカーが集結します。期間中はカーショーやクルーズイベント、ライブ音楽などが行われ、海岸線を舞台に古き良きアメリカの自動車文化を体感することができます。

トレイル・リッジ・ロード (コロラド州ロッキー山脈国立公園)

ロッキー山脈国立公園を横断するトレイル・リッジ・ロードは、全長約 77 キロにわたり標高約 3,700 メートルを超える、全米で最も標高の高い舗装道路として知られています。沿線にはアルパイン・ビジターセンターや森林を見下ろす展望スポットが点在し、ロッキー山脈ならではの壮大な景観を楽しめます。

■ アストロノミー・イン・ザ・パーク (Astronomy in the Park)

ロッキー山脈国立公園では 7 月 10 日と 8 月 7 日・14 日、夜空観察プログラム「アストロノミー・イン・ザ・パーク」が開催されます。国立公園の澄んだ夜空の下、星座や惑星、天の川などを観察できます。日中はトレイル・リッジ・ロードから壮大な山岳風景を楽しみ、夜には満天の星空を観察できる、ロッキー山脈ならではの体験です。

コロラド・ホットスプリングス・ループ (コロラド州ロッキー山脈西部)

デンバーからスティームボートスプリングスまで、コロラド州西部に点在する 23 の温泉地をつなぐ全長約 1,300 キロのドライブルートです。世界最大級の天然温泉プールで知られるグレンウッド・スプリングスをはじめ、歴史ある温泉リゾートや秘湯感あふれる温泉地を訪れることができます。

■ グレンウッド・ホットスプリングス・リゾート開業 140 周年

コロラド州を代表する温泉施設の一つであるグレンウッド・ホットスプリングス・リゾートは、2026 年に開業 140 周年を迎えます。1886 年の開業以来、世界最大級の天然温泉プールを有する施設として知られ、温泉文化やウェルネスツーリズムへの関心が高まる中、アメリカ西部ならではの温泉ロードトリ



ップの目的地として注目を集めています。同施設では現在、長期期滞に向け割引プランやスパパッケージも提供されており、温泉とウェルネスをテーマにした滞在を楽しむことができます。

ナショナル・ロード(メリーランド州カンバーランド～ペンシルベニア州ブラウズビル)

ナショナル・ロードは、19世紀初頭に建設されたアメリカ初の連邦政府主導による幹線道路です。現在の国道40号線(U.S. Route 40)の一部として利用されており、石造りの橋や料金所跡など、開拓時代の面影を残す歴史的な景観を楽しめます。

■ ムジークフェスト(Musikfest)

ペンシルベニア州バツレームでは本年7月31日～8月9日、全米最大級の音楽フェスティバルの一つ「ムジークフェスト」が開催されます。10日間にわたり500を超える公演が開催されるほか、多くのステージで無料ライブが実施されることでも知られています。2026年は、サード・アイ・ブラインド、トレイン、エー・ジェイ・アールなどの出演が決定しています。ナショナル・ロード沿線の歴史ある町並みや文化スポットとあわせて楽しめる、夏のペンシルベニアを代表するイベントとなっています。

キングズ・ハイウェイ(マサチューセッツ州ボストン～サウスカロライナ州チャールストン)

1650年に整備が始まったキングズ・ハイウェイは、アメリカ建国以前に東海岸の植民地都市を結んだ歴史的街道です。現在も一部区間が利用されており、ボストン、ニューヨーク、フィラデルフィア、チャールストンなど、アメリカ初期の発展を支えた都市を結んでいます。

■ セイル・フォース 250(Sail4th 250)

キングズ・ハイウェイ沿線には、フィラデルフィア、ニューヨーク、ボストンなど、アメリカ建国史において重要な役割を果たした都市が数多く点在しています。ニューヨークでは本年7月3日～9日、アメリカ建国250周年を記念する大規模海洋イベント「セイル・フォース 250」が開催されます。ニューヨーク港を舞台に史上最大規模の海洋祝賀イベントで、7月4日には30カ国以上から集まる大型帆船や軍艦による国際帆船パレードが実施されます。

クレオール・ネイチャー・トレイル(ルイジアナ州ガルフコースト)

「ルイジアナのアウトバック」とも呼ばれるクレオール・ネイチャー・トレイルは、サビン国立野生生物保護区やキャメロン・プレーリー野生生物保護区などを結ぶ約290キロの絶景ルートです。湿地帯では400種を超える野鳥が観察できるほか、釣りやクラビング(カニ漁体験)など、ルイジアナならではの自然体験を楽しめます。

■ ルイジアナ・ファー&ワイルドライフ・フェスティバル(Louisiana Fur & Wildlife Festival)

ルイジアナ州キャメロンでは2027年1月8～9日、文化イベント「ルイジアナ・ファー&ワイルドライフ・フェスティバル」が開催されます。1955年に始まったルイジアナ州を代表する伝統的なイベントで、狩猟や漁業、野生生物、食文化など、キャメロン郡ならではの暮らしや文化をテーマにしています。会場ではパレードやライブ音楽、郷土料理を楽しめるフードイベントのほか、ルイジアナ名物の煮込み料理「ガンボ」のコンテストや、鴨の鳴きまねコンテスト、牡蠣むき競技など、ルイジアナならではの



催しが行われます。

ウィスコンシン・フランク・ロイド・ライト・トレイル(ウィスコンシン州ミルウォーキー～スプリンググリーン)

ウィスコンシン州ミルウォーキーから同州南部へと続く約 320 キロのドライブルートです。ルート沿いにはアメリカを代表する建築家フランク・ロイド・ライトゆかりの 9 つの建築スポットが点在し、世界遺産にも登録されているタリアセンなども訪れることができます。

■ デザインング・ウィズ・ネイチャー・ワークショップ(Designing with Nature Workshop)

ウィスコンシン州スプリンググリーンのタリアセンでは本年 9 月 18 日～20 日、文化イベント「デザインング・ウィズ・ネイチャー・ワークショップ」が開催されます。世界遺産にも登録されているフランク・ロイド・ライトの旧邸宅兼スタジオを舞台に、自然と調和するデザインをテーマとした体験型ワークショップです。参加者はタリアセンの広大な敷地や建築を巡りながら、ライトが提唱した「有機的建築(Organic Architecture)」の考え方や、自然から着想を得るデザイン手法について学ぶことができます。

ガラ・ギーチャー・コリドー(サウスカロライナ州ローカントリー)

サウスカロライナ州のローカントリー地方を巡る文化ルートです。チャールストンからジョージタウン、ビューフォート、セントヘレナ島へと続き、湿地帯沿いの道路や檜の木が覆う並木道を走りながら、西アフリカ由来の伝統文化を色濃く受け継ぐガラ・ギーチャー文化に触れることができます。沿線では、エビ漁の港や伝統的な礼拝所、スイートグラスを使った工芸品など、建国以前から受け継がれてきた文化や暮らしを見ることができます。

■ フィッシュ・アンド・グリッツ・ミュージック・フェスティバル(Fish and Grits Music Festival 2026)

サウスカロライナ州ボーフォートでは本年 10 月 3 日、文化フェスティバル「フィッシュ・アンド・グリッツ・ミュージック・フェスティバル」が開催されます。同イベントは、ガラ・ギーチャー文化やローカントリー地域の食文化、音楽文化を祝うフェスティバルとです。期間中は、R&B やゴスペル、ジャズなどのライブパフォーマンスが行われるほか、シーフード料理やローカントリー料理を楽しむことができます。ガラ・ギーチャー・コリドーを巡る旅とあわせて訪れることで、アメリカ南東部に受け継がれる独自の文化や伝統を体験できます。

ケンタッキー・バーボン・トレイル(ケンタッキー州)

ケンタッキー・バーボン・トレイルは、レイビルやレキシントン周辺を中心に、メーカーズマークやウッドフォード・リザーブなど、世界的に知られる蒸留所を巡る人気のロードトリップルートです。蒸留所見学やテイスティングを通じて、石灰岩層を通った水やオーク樽が生み出すケンタッキー・バーボンの歴史と伝統に触れることができます。

■ ケンタッキー・バーボン・フェスティバル(Kentucky Bourbon Festival)

ケンタッキー州バーズタウンでは本年 9 月 10 日～13 日、「ケンタッキー・バーボン・フェスティバル」が開催されます。60 を超える蒸留所と 200 以上のブランドが参加する全米屈指のバーボンイベントで、限定ボトルの試飲や専門家によるセミナー、蒸留所ツアーなど多彩なプログラムが実施されます。



2026 年は 35 周年を迎える節目の開催となり、世界中からバーボン愛好家が集まります。ケンタッキー・バーボン・トレイルとあわせて楽しみたいイベントです。

テキサス BBQ トレイル(テキサス州中部)

テキサス BBQ の聖地として知られるロックハートやテイラー、オースティンなどを巡るテキサス BBQ トレイルでは、アメリカ南部を代表する本格バーベキュー文化を体験できます。ルート沿いには数多くのバーベキュー店が点在しており、オースティンの「フランクリン・バーベキュー」は米国の食専門誌『ボナペティ』が全米 No.1 と評したことでも知られています。薪で長時間燻製したブリスケットやソーセージなど、店舗ごとに異なる味わいを楽しめることが魅力です。

■ テキサス・マンスリー BBQ フェスト(Texas Monthly BBQ Fest)

テキサス州ロックハートでは本年 11 月 7 日～8 日、バーベキューをテーマにしたイベント「テキサス・マンスリー BBQ フェスト」が開催されます。テキサス州を代表する食文化イベントの一つとして名高く、州内各地の人気バーベキュー店や著名ピットマスター(肉の燻製や焼き上げを担う職人)が集結します。期間中は、バーベキューの食べ比べやライブイベントなども行われ、本場テキサス BBQ の魅力を満喫できます。

カンカマガス・ハイウェイ(ニューハンプシャー州ホワイトマウンテン国有林)

ニューハンプシャー州ホワイトマウンテン国有林を横断するカンカマガス・ハイウェイは、全長約 55 キロにわたり森林や滝、山岳風景を楽しめる絶景ルートです。特に紅葉シーズンにはニューイングランドを代表するドライブルートとして知られ、多くの旅行者を魅了しています。

■ ニューハンプシャー・ハイランド・ゲーム&フェスティバル(New Hampshire Highland Games & Festival)

ニューハンプシャー州リンカーンでは本年 9 月 18 日～20 日の間、文化イベント「ニューハンプシャー・ハイランド・ゲーム&フェスティバル」が開催されます。スコットランド文化をテーマにした北米有数のイベントとして知られ、バグパイプ演奏やハイランドダンス(スコットランドの伝統舞踊)、丸太を投げる「ケイバー投げ」などの伝統競技を楽しめます。紅葉が始まるホワイトマウンテン地域を巡るドライブとあわせて訪れたいイベントです。

ニードルズ・ハイウェイ(サウスダコタ州カスター州立公園)

サウスダコタ州のカスター州立公園を走るニードルズ・ハイウェイは、例年 4 月から 10 月にかけて通行可能となる全長約 23 キロの山岳ドライブルートです。花崗岩の奇岩群が連なるブラックヒルズを縫うように走り、ニードルズ・アイ・トンネルやカテドラル・スパイアーズなどの絶景を楽しめます。

■ バッファロー・ラウンドアップ&アート・フェスティバル(Buffalo Roundup and Arts Festival)

サウスダコタ州カスター州立公園では本年 9 月 25 日、カウボーイ文化をテーマにしたイベント「バッファロー・ラウンドアップ&アート・フェスティバル」が開催されます。公園内で放牧されている約 1,300 頭のバイソンをカウボーイたちが一斉に追い込む伝統行事で、毎年多くの観光客が訪れます。当日



はアートやクラフトの展示・販売も行われ、アメリカ西部らしい迫力ある光景と地域文化を楽しめます。

クレストッドビュート・ワイルドフラワー・ドライブ (コロラド州クレストッドビュート)

コロラド州クレストッドビュート周辺では、例年 6 月下旬から 7 月にかけて、ルピナスやコロンバイン、インディアン・ペイントブラシ、ヒマワリなどの高山植物が咲き誇ります。エルク山脈の山々を背景に色鮮やかな花々が広がることから、「コロラド州のワイルドフラワーの首都 (Wildflower Capital of Colorado)」として知られています。

■ クレストッドビュート・ワイルドフラワー・フェスティバル (Crested Butte Wildflower Festival)

コロラド州クレストッドビュートでは本年 7 月 10 日～19 日、コロラドの大自然をテーマにしたイベント「クレストッドビュート・ワイルドフラワー・フェスティバル」が開催されます。期間中は、高山植物の観察ツアーやハイキング、写真撮影ワークショップ、アートプログラムなどが催され、ロッキー山脈の大自然の魅力に触れることができます。夏のコロラドを代表するイベントの一つとして、毎年多くの自然愛好家や写真ファンが集まるイベントです。

アムトラック:ロードトリップから鉄道の旅へ

アメリカ各地を結ぶ旅客鉄道アムトラック (Amtrak) は近年、快適性や環境性能を高めた新型車両の導入を推し進めています。本年中に、ボストン、ニューヨーク、フィラデルフィア、ワシントン D.C. を結ぶ東海岸の主要路線において次世代高速列車「アセラ (Acela)」や、環境負荷の低減を目指した新型車両「エアロー (Airo)」の運行開始が予定されており、新たな鉄道旅行のスタイルとして注目されています。

■ メキシコ湾岸を結ぶ新たな鉄道サービス「マルディグラ・サービス (Mardi Gras Service)」

2025 年に運行を開始した「マルディグラ・サービス」は、ニューオーリンズとアラバマ州モービルを結ぶ新たな旅客鉄道サービスです。ハリケーン・カトリーナの影響で途絶えていた旅客列車が約 20 年ぶりに復活したもので、ニューオーリンズ、ベイセントルイス、ガルフポート、ビロクシなど、メキシコ湾岸地域の主要都市を結びます。ルイジアナ州とミシシッピ州を代表する食文化や音楽、歴史ある街並みを鉄道で巡る新たな旅の選択肢として注目されています。

■ 東海岸を結ぶ次世代高速列車「アセラ」

ボストン、ニューヨーク、ワシントン D.C. を結ぶ東海岸の主要路線では、次世代高速列車「アセラ」の導入が進められています。最高時速約 250 キロで運行するアムトラックのフラッグシップ列車で、広々とした座席や最新設備を備え、都市間移動をより快適に楽しむことができます。飛行機や自動車とは異なる、新しい鉄道旅のスタイルとして注目されています。

■ 太平洋岸北西部を走る「アムトラック・カスケード (Amtrak Cascades)」

シアトルとポートランドを結ぶ「アムトラック・カスケード」は、太平洋岸北西部を代表する人気鉄道路線です。今秋には新型車両の導入が予定されており、さらなる快適性や環境性能の向上が期待されています。沿線には海岸線や森林、山岳風景が広がり、都市と大自然を結ぶ景観豊かな鉄道の旅を楽しむことが



できます。

「ロードトリップは、アメリカならではの旅の魅力を体現する体験です。広大な国土を自由に巡りながら、自分のペースで各地の人々や風景、文化に触れることができます。私たちの調査によると、ロードトリップは現在も海外旅行者がアメリカを訪れたいと考える主要な理由の一つとなっています。旅行者がより意義深く本物の体験を求める今、アメリカ各地のハイウェイや景勝ルートは、その土地ならではの魅力を発見し、アメリカという国や地域コミュニティとのつながりを深める機会を提供するのです。」(ブランド USA のプレジデント兼最高経営責任者(CEO)、フレッド・ディクソンのコメント)

訪米旅行の計画には、旅行者向け公式ポータルサイト「[Visit The USA.com](https://www.visittheusa.com)」をご活用ください。

■ ブランド USA について

アメリカ合衆国の公式観光促進団体であるブランド USA は、戦略的なマーケティング活動および旅行政策に関する情報発信を通じて、訪米意欲の高い海外旅行者を誘致し、米国経済の成長と地域社会の発展に貢献することを使命として掲げています。ブランド USA は、米国旅行促進法(Travel Promotion Act)に基づき設立され、合法的にアメリカへ渡航する旅行者を対象に、最新の査証および入国関連情報の発信を含むさまざまな活動を展開することで、アメリカ合衆国を世界有数の旅行先として位置づけています。なお、ブランド USA は、ESTA(電子渡航認証システム)利用者から徴収される費用の一部と、全米各地の観光局、旅行関連ブランド、その他民間企業・団体からの拠出金を財源として運営しており、米国納税者の負担なしで活動を行っています。

また、Tourism Economics による独立調査によると、ブランド USA は 2013 年以降の 13 年間にわたり、旅行業界のパートナーと連携して実施してきたマーケティング施策を通じて、訪米旅行者を 1,130 万人増加させ、約 381 億ドル(約 5 兆 9,055 億円/1ドル=155 円換算)の旅行消費を創出しました。その経済効果は累計で 829 億ドル(約 12 兆 8,495 億円)に達し、年間平均 4 万件以上の雇用を支えています。さらに、これらの取り組みにより、連邦・州・地方政府において累計約 110 億ドル(約 1 兆 7,050 億円)の税収創出にも寄与しています。

当リリースに関するお問い合わせ先

ブランド USA 日本事務所 (広報担当: 早瀬、水口、野間)

TEL: 03-6261-5385 E-mail: BrandUSAJapan@aviareps.com